

佐賀県高等学校

P T A 新聞

発行 佐賀県高等学校 P T A 連合会
佐賀市成草町 7 - 29
電話 0952(29)2573
F A X 0952(26)5435
印刷 大同印刷株式会社

『雲蒸竜変』

会長 小出 邦彦



明けましておめでとうございます。会員の皆様には、希望も新たに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

振り返りますと昨年は、国内では東日本大震災や台風十二号による大雨災害、国外ではタイ洪水やトルコ地震など、未曾有の自然災害にみまわれた年でした。そしてまた、東日本大震災当日の避難状況や復旧・復興活動、支援活動等に触れ、親子の絆、家族の絆、地域の絆の大切さを改めて考えさせられた年でもありました。被災地の方々は、衷心よりお見舞い申し上げます。



こと)など英雄や豪傑が登場する熟語がたくさんあります。中でも「雲蒸竜変」は、雲が群がりわくのに乗じて、蛇が龍となつて天にのぼる場面を想像して例えられたものだそうです。暗いニュースが多い中、剛速球で甲子園を沸かせた北方悠誠(唐津商業)投手の、プロ野球ドラフト会議における横浜ベイスターズからの一位指名や、水泳の世界ジュニア選手権男子四百メートル自由形における日高郁弥(佐賀学園)選手の優勝など、私たちが元気づけてくれる明るいニュースもありました。彼らには「雲蒸竜変」の如く、更なる努力と活躍を期待したいと思います。

最後にになりましたが、世界不況や日本経済の回復と東日本大震災被災地の一日も早い復旧・復興、そして皆様方のご健勝を祈念し、年頭の挨拶といたします。

三神地区

当番校 神埼清明高校

十一月二十五日(金)
本年度の三神地区高等学校 P T A 研修会が、去る十一月二十五日(金)、県高 P 連副会長小林佳樹様、同事務局長香月英二様をお迎えし、また、三神地区七つ

の高校から五十五名余りの保護者・教職員の参加を得て、神崎市中央公民館で開催されました。開会行事では、事務局である神埼清明高校 P T A 会長徳永洋士の挨拶に続き、県高 P 連副会長小林佳樹様より来賓の挨拶をいただきました。

講演会では、料理研究等でご活躍されている橋本祐子様をお招きし、「食が育む心身の成長と健康について」をテーマとしてご講演をいただきました。



講師の橋本祐子先生

内容は、①食の基本：体に必要な栄養とはなにかについて ②食と心身の成長：朝食の重要性(若者の朝食離れが多い・脳に必要なエネルギー・生活習慣病・見直される日本食) ③食と健康：旬の食材と健康づくり等についてでした。自然環境にあるものが体を助ける(旬の野菜)とのご指摘をうけ、改めて食事の大切さを痛感しました。

研修会後半では、全高 P 連北海道大会の報告が、鳥栖商業高校 P T A 会長古賀彰孝様、九高 P 連沖繩大会の報告が神埼清明高校 P T A 副会長中原寿美子から行なわれました。

鹿藤地区

当番校 嬉野高校

十一月一日(土)

本年度の鹿島藤津地区高等学校 P T A 指導者研修会が、去る十月一日(土)嬉野市の「嬉野館」を会場に、「共に学び、共に高め合う P T A 活動」を研究主題に約九十名の参加者を得て盛大に開催されました。開会行事では本年度地区事務局である嬉野高校 P T A の廣川滋会長の挨拶に引き続き、来賓の佐賀県高等学校 P T A 連合会の小林佳樹副会長からご挨拶をいただき、研修会に移りました。

各学校 P T A 活動報告

体育祭・文化祭のバザー、スポーツ大会、レクリエーション大会、ボランティア活動、模擬面接会、登下校の交通指導、挨拶運動、ラーメンや豚汁などの仕出し、環境整備など各学校 P T A が学校側と一体となつて様々な活動に取り組んでいるといった報告がありました。近年、個人化や地域への無関心化が進み、総会や地区保護者会への参加率向上に苦勞をしているという報告もありました。

【講演】

「豊かな心とつくり」という演題で、福祉レクリエーションワーカーの森恵美先生から、日頃の生活でストレスをためない工夫やコミュニケーション

その後、神埼清明高校 P T A 会長徳永から「神埼清明高校の P T A 活動」についての報告があり、「楽しい P T A 活動を目指して、楽しくなければ P T A じゃない・楽しくない P T A は長続きしない」等楽しい報告がなされました。

三時間近くの研修会で、内容も豊富な有意義な研修となりました。
《神埼清明高校 江頭 徳親》



講師の森恵美先生

ン能力の大切さなどについて、講演をしていただきました。森先生の体験談やゲームを交えながらのとても楽しいお話で、聞いていた私達の心が軽くなったような気がしました。

《嬉野高校 田中 良尚》

唐松地区

当番校 唐津工業高校

十一月十一日(金)

唐津市和多田の「唐津市文化体育館」において平成二十三年度佐賀県高等学校 P T A 連合会唐松地区教育振興会指導者研修会が開催されました。来賓とし

春秋

『人類万歳!』

少しづつ世の中に慣れて人間がまるくなってきた。というよりにむろ人と争うことが面倒になり、情熱や正義感が萎れ、何事も無関心になつてきた自分が見えてくる。そんな風に自分の情熱が消えかかっているとき、ふと十数年前の出来事を思い出す。教え子の結婚式が福岡であつて、その帰りの佐賀行き列車の中であつた。夜の遅い列車だったので、数人程の乗客だけだつた。酒が入っていたので、少しまどろみながら、ぼんやりと前をみると、空席だつた場所に、一人の青年が座っていた。他にも席がたくさん空いている

て、県高 P 連会長小出邦彦様、同事務局長香月英二様などをお迎えし、唐松地区七つの高校から八十名余りの保護者、教職員の参加がありました。

開式のあと、西九州大学講師の吉村春生先生による講演会があり「心がかせをひくときー安心感」と自立ーという演題で九十分間お話しいただきました。「心の健康を育むには、安全な空間や甘えが必要で、不足したまま成長すると自立できず、いじめなどにつながる。」など、話術巧みなお話に会場が笑いの渦に包まれながらも、分かりやすく講演していただきました。今後の子育ての参考になつたと多くの保護者の感想がありました。

つぎに、全高 P 連北海道大会報告が唐津商業高校教育振興会の堀会長から、九高 P 連沖繩大会報告が唐津西高校振興会の前田会長から、それぞれ行われました。分科会での話や現地での E P ソードなどを報告していただきました。続いて、問題提起



講演される吉村春生先生

最後に、P T A 活動に関して、唐津南高校の岡本会長、唐津東高校の阿比留校長先生から貴重な指導助言をいただき、今後とも各学校が協力しあつて活動していくことを確認して、研修会を終えました。

《唐津工業高校 佐藤 啓明》

かす、また、別の乗客が乗り込んできた。今度はちょっと怖そうな大柄な男性だつた。先ほどの女性が座つたまかつた同じ席で、まかつた同じ行動をとつたのだ。夕バコにライターで火をつけようとした瞬間がスローモーションになり、私は酔いも眠気も吹っ飛んで、この青年が先ほどと同様に注意をするかどうかで、心臓がどきどきしたことを覚えていた。一瞬の出来事ではあつたが、長く感じられた。ちよつと大袈裟になるが、自分が宇宙人で、人類を信頼してもいいのかわからない判断する場面に遭遇したような気持ちになつた。期待通り、その青年は激しくない声で「ここは禁煙車両です」と。人類万歳!
佐賀県立厳木高等学校
校長 荒牧 昭二

夢実現に向けて!

佐賀学園高等学校 水泳部 日高 郁弥



第3回世界ジュニア選手権大会 400m自由形表彰式

去年八月、ペルーで行われた第三回世界ジュニア選手権大会で、四百m自由形で優勝することができました。また九月の山口国体では、同種目高校新で優

勝することができました。私はこの二つの大会での優勝で、オリンピック選手になるという夢の実現が近づいたと思います。オリンピックに出場するには標準記録というのがあり、四百m自由形ではあと一秒六記録を縮めると出場できるようになります。今後は、東京・静岡・中国・ Guamなどの強化合宿に参加し、北京オリンピックなどに出場した選手と一緒に練習します。ライバルに負けないように自分を磨き、精一杯努力していきたいと思っています。

今年四月に行われるオリンピック代表選手選考会では、二位以上で入賞し標準記録を突破したらオリンピックに出場でき

シリーズ No14 頑張ってるね!! 輝いてるね!!

本校は総合学科の特色として自分の興味・関心に応じた授業を選択することが出来ます。その中で、食品科学系列に開設している、製造から商品化までの過程を学ぶ「食品製造」を選択している三年生二十三人が地域の素材を生かした三種類のカップケーキを開発しました。①アスパラガスの緑②米のもちもち感③塩味が効いたそつめんと「個性満点」です。将来的にこのカップケーキに「神流! ☆(スター)☆」と商品名をつけて販売をしたいと思っています。また、同じく「食品製造」を選択している一・二年生七人が地元名産の神埼そうめんや県産タマネギを使った調理パン「オニオンブレッド」をリョーユー

地元の味よとどけ!

神埼清明高等学校



パンと共同開発し、九月十三日から期間限定で県内のローソンで販売され、大好評でした。

佐城地区

当番校 佐賀清和高校

十月二十八日(金)

佐高P連佐城地区指導者研修会が「グラウンデはがくれ」で、二十校百二十名余りの参加者を得て開催されました。

開会行事は佐賀東高等学校後援会小林佳樹会長の開会に始まり、今年度当番校の佐賀清和高等学校教育振興会小島啓会長の挨拶、そして来賓挨拶として小出邦彦佐賀県PTA連合会会長のご挨拶をいただきました。また来賓として佐賀県社会教育・文化財課社会教育主幹関弘昭氏、佐賀県高等学校PTA連合会事務局長香月英二氏にご参加いた

ます。子どもの頃からの夢の実現に向けてこれからも精一杯頑張りたいと思いますので応援よろしくお願いたします。

できました。

開会行事後研修に入りました。講師として佐賀県警察本部生活環境課サイバー捜査官藤井信吾警部補による「子どもの携帯電話・インターネット事情」(トラブル事例と対処法)について講話をお願いしました。子どものネットへの入口が身近にあること、現在、小学生二〇%、中学生四六%、高校生九八%が携帯電話・スマートフォンを保有しており、これらは保護者が与えていることから、ケータイ問題は保護者の責任であるという認識も必要とのことでした。携帯電話やインターネットの普及とともに様々な弊害があり、さら

に出会い系サイトの危険性は以前から言われているとおりです。最近では、コミュニティサイト(男女問わない)や無料ゲームサイトの出現により利用者の

それ以外にも三年次の「総合的な学習の時間」では地産地消の食材を使用した、さまざまなケーキやお菓子の開発にも挑戦しています。

これからも、地域に密着した学校として頑張っていくと思います。応援よろしくお願いたします。



携帯電話インターネット

講演中の藤井信吾氏



幅が広がり、こういったサイトへ書き込んだプロフなど完全に消去できず、それがもとで誹謗中傷にさらされたり、ブログに書き込んだ内容が第三者によって悪用されたりしています。このようなリスクを避けるための方法は、有害情報対策としてフィルタリングしかないそうです。また、保護者は子どもに携帯電話を持たせる理由を安全・安心の為に考えるが、子どもの利用内容の把握は困難であり、安全教育として危険回避の方法、情報の内容や相手を選別する力を育てることが必要であるということでした。

これだけIT機器の普及があるにもかかわらず、子どもの実態の把握が完全でない現状に、参加された保護者の方々も今後の対応について「考えを新たにしなければ」と思われたようでした。

《佐賀清和高校 貞松 義人》

杵西地区

当番校 佐賀農業高校

十一月二十五日(金)

「共に学び、共に育つPTA活動を目標して」という研究主題のもと十一月二十五日(金)白石町総合センターにおいて県高P連会長小出邦彦様、佐賀県教育庁社会教育・文化財課関弘昭様をお迎えし、また、杵西地区十一の学校から四十名余りの保護者・教職員の参加を得て指導者研修会を開催いたしました。

開会行事では、事務局である佐賀農業高等学校山口武美PTA会長の挨拶、事務局校長山口郁雄の挨拶に続き、県高P連会長の小出邦彦様より来賓の挨拶をいただきました。

講演会では、久野農園・有機農法研究所経営の久野泰昭様をお招きし、「人づくり、物づくり」と題してご講演をいただきました。内容は、身体づくりは土づくり、心づくりは根づくりと同様で、毎日水をかけてやると作物は自分で努力して根を張らない。子育ても過保護に育てると自主性が育たないなど子育てを農業にたとえてユーモアを交えてのご講演をしていただきました。

研修後半では、伊万里特別支援学校PTA会長小林和子様より同校PTAの取り組みとして「ボランティア養成講座」障害があっても地域の中で」と題して高校生を招いてのボランティア養成講座を開き、実際に障害を持つ子どもたちと接することで、子どもたちのよき理解者・支援者になってほしいという事例発表をしていただきました。また、「有田工業高等学校保護者後援会の取り組み」と題して後援会会長の藤本安彦様から活動内容の紹介や「有田工業高校生と保護者の進路意識調査」アンケートをもとに事例発表をしていただきました。

その後、佐賀県教育庁社会教育・文化財課社会教育主幹の関弘昭様から指導助言をいただきました。



講師の久野泰昭氏



事例発表者

ました。三時間近くの研修を行いました。内容も豊富で有意義な研修会となりました。

《佐賀農業高校 永尾 正明》

県下一斉合同列車指導

十月十八日(火)、佐賀県高等学校生徒指導連盟と合同の列車指導を行った。



挨拶する小出会長

お知らせ

- 来年度の佐高P連「会費」と全高P連賠償責任補償制度の「掛金」は今年度と同額です。
- 佐高P連事務担当者会議 四月二十四日(火)十四時
- 佐高P連定期総会 六月六日(水)十四時
- 九高P連大会福岡大会 六月二十一日(木)・二十二日(金)
- 全高P連大会和歌山大会 八月二十二日(水)・二十三日(木) 二十四日(金)